



ほけんだより 6月号

2023 社会福祉法人雫石保育園 保健室



梅雨の季節になりました。湿度も気温とともに高くなり、また天気も変わりやすいこの時期は、もっとも体調を崩しやすい時期でもあります。過ごしやすい環境づくりに配慮し、毎日のお子様の様子に気を配って行きましょう。気温に応じて衣服の調節ができるように着替えの準備もお願いいたします。また、食中毒の注意が必要な時期です。水筒やお弁当の定期的な消毒をお願いします。下痢や嘔吐の症状がある場合は無理をせず、早めに病院受診をし、適切な処置を受けましょ

6月4日は
虫歯予防デー

脳の働きが
活発になります

かむことは大切

あごの骨や
筋肉の成長を
助けます

だ液の分泌が
盛んになり、
消化を助けます

歯肉に刺激が伝わり、
歯を支えている骨や組織が
丈夫になります

だ液の分泌により、
食べかすが歯に付くのを
防ぎます



解熱薬の使い方

38,5℃以上で、辛そうにしているときに使います。高熱でも元気そうなら使わなくてもいいのです。また、眠っている子を起こしてまで使う必要はありません。

一度使ったら、次に使うのは6時間以上あけ、こまめに検温をしましょう。

***ただし、熱性けいれんを起こしたことがあるお子さんは、主治医の指示に従い使用しましょう。**

座薬と飲み薬の違い

効き目はおなじです。吐く子には座薬を、下痢のときや座薬が嫌いな子には飲み薬が処方されることがあります。座薬の解熱薬と飲み薬の解熱薬を同時に使ってはいけません。

登園は解熱薬を使わない状態で熱が平熱になり24時間を経過してからとなります。解熱薬は治療薬ではありません。解熱薬を使用しての登園はおやめください。



6月6日(火)内科健診 12時10分頃から

6月13日(火)歯科検診 10時から があります。

検診は子ども一人一人の発達や心身の健康状態や心身の健康状態や疾病を把握するために必要な保健行事です。お休みをせず受けていただきますようご協力お願いします。お休みされた場合はおうちの方に園医の先生に個別の受診をお願いします。

